

2025.5
MAY
No.28

高知大学医学部附属病院広報誌
隔月刊 [おらんくの大学病院]

RANK

RANK

2025.5 MAY No.28

高知大学医学部附属病院広報誌
隔月刊 [おらんくの大学病院]

[発行日] 2025年5月20日

[発行] 高知大学医学部附属病院 広報係 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 Tel.088-880-2723

世界に通用する
放射線治療と医師の育成を目指し、
アクションを起こす！

放射線治療科教授 木村 智樹

緩和照射に、日本初の試み。高知から
「がん放射線治療」に輪番制が誕生！

放射線治療科
教授

木村 智樹

高知医療センター

副院長/がんセンター長/放射線療法科長

西岡 明人

高知赤十字病院

第二放射線科 部長

中谷 貴美子



高知大学医学部附属病院



<http://www.kochi-u.ac.jp/kms/hsptl/index.html>



＼ 広報担当者のつぶやき /

病院広報誌の表紙を考える際に、『先生が好きなものや趣味はありますか?』とお聞きして、それにまつわる写真を使用しています。これまでも、『お酒が好き』という回答はありましたが、医療に関する冊子で飲酒している表紙は良くないのでは、という意見もあり見送ってきました。

今回、木村教授から『酒蔵に行きたい』とお話をいただいた際、その手があったかと感心すると同時に、好きな銘柄とその酒蔵まで指定してきた熱意に、教授の日本酒愛を感じました。

今回の取材に快く応じて下さった西岡酒造店様に心より感謝申し上げます。

高知大学医学部卒業から
30年来、放射線治療に
取り組んで来られていますが、
木村先生が放射線科を
志された理由は何でしたか。

私は広島県の出身で、小学生
の時から「原爆」の現状に触れる
機会が多く、放射線の怖さを知
る反面、詳しく知るほどに興味
を引かれていきました。

高知大学医学部で放射線治療
分野があることを知り、忌み嫌
われていた放射線が、がん治療に
大きく役立つということに関心
を持ったことが、私のその後を
決定つけた大きなきっかけとな
りました。以降、放射線治療の奥
深さや進歩を経験しながらその
可能性を信じて、ぶれることな
く放射線治療一筋です。

先生の得意とする分野や
領域における実績などについて
教えてください。

治療効果が高くあらゆるがん
に有効な高積度放射線治療を

世界に通用する放射線治療と 医師の育成を目指し、 アクションを起こす！

10年後を
見据えた、
放射線治療への
挑戦！

広島大学病院から、母校の高知大学医学部へ赴任して4年。
“諦めないがん治療”を信条に放射線によるがん治療に取り組んできた木村教授の
その出発点を探りながら、これからの活動や指針を語ってもらった。

主に実践しています。中でも小
型肺がんや肝細胞がんに対する
定位放射線治療に関する臨床
試験を通じたあらゆるエビデ
ンスの構築に取り組んでいます。
また、新しい試みとして、真の
低侵襲放射線治療を目的とし
たマーカーレスの乳がん治療や
定位照射、他にも遠方からの通
院負担を軽減する寡分割照射
を推進しています。

医師としてのこれまでの
経歴の中で、心から離れない
エピソードなどはありますか。

1つ挙げるならば、20年ほど
前になりますが、香川大学に勤
務していた時のことです。

進行性の胃がん患者さんの症
例で、がん細胞の周囲臓器への浸
潤のため術前化学放射線療法を
行った結果、手術前がん細胞を
消失させることができた症例が
出てきたのです。もともと胃がん
は放射線治療効果が薄いとされ
てきたため、そこまで期待され
ていなかっただけに、外科をはじめ他

科の先生方に大きな理解を得ら
れたことが大きな収穫でした。何
事も諦めたらすべてそこで終わっ
てしまいます。この時の喜びは、生
涯忘れることはないでしょう。

「育てられる」から、
「育てる」
立場へ！

母校である高知大学医学部に
放射線治療の専門医として
戻られました。
木村先生にとっての本学の
印象をお聞かせください。

自然に囲まれ住みやすいのは
あの頃と少しも変わりありませ
んが、赴任後まず感じたのは、こ
れまで勤務したどの病院より、
診療科間の垣根が低いことでし
た。そのお陰で他科との連携も
非常にスムーズですし、チーム医
療が実践しやすいのは、こちらに

【専門分野】
高精度放射線治療の実践。特に小型肺がんや肝細胞がんに対する定位放射線治療に
関する臨床試験を通じたエビデンスの構築。

【専門医】
日本医学放射線学会放射線治療専門医、日本がん治療認定医

【委員など】
日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)放射線治療グループ代表委員、日本放射線腫
瘍学会(JASTRO)評議委員/高精度放射線外部照射部会 幹事、日本医学放射線学
会(JRS)代議員、日本肺癌学会 ガイドライン検討委員会/放射線治療及び集学的治
療小委員会委員/胸膜中皮腫小委員会、日本放射線腫瘍学研究機構(JROSG)理事、
西日本がん研究機構(WJOG)放射線治療委員、中四国放射線治療懇話会 世話
人、広島放射線治療研究会 世話人、高知放射線治療研究会 代表世話人、日本癌治療学
会 会員、日本頭頸部癌学会 会員、American Society of Clinical Oncology (ASCO) 会員、
International Association for the Study of Lung Cancer (IASLC) 会員

放射線治療科 教授
木村 智樹 (きむら ともき)

【経歴】
1995年 高知医科大学 卒業
1995年 広島大学 放射線科 入局
同 年 広島市立安佐市民病院 勤務
1998年 広島赤十字・原爆病院 勤務
2000年 広島大学医学部附属病院 放射線科 医員
2003年 広島大学医学部・歯学部付属病院 放射線科 助手
2005年 香川大学医学部附属病院 放射線科 助手
2008年 広島大学医学部附属病院 放射線科 講師
2009年 広島大学病院 放射線治療科 助教
2011年 広島大学病院 放射線治療科 講師
2012年 MD Anderson Cancer Center
(広島大学若手研究者海外派遣プログラム)
2020年 広島大学病院 放射線治療科 診療准教授
同 年 高知大学医学部 放射線医学講座(放射線腫瘍学分野) 教授
2021年 高知大学医学部 放射線腫瘍学講座 教授
現在に至る

「あきらめたら、
すべてがそこで終わってしまう」

プライベートを拝見!



高知大学医学部時代、野球部の練習に明け暮れていた頃…まさに青春でした。(現在は駐車場になったグラウンドにて)

(有)西岡酒造店

江戸時代中期の天明元年(1781)より、240余年の歴史がある蔵元で、代表銘柄に「純平」や「久礼」があります。また、全国新酒鑑評会金賞ほか、数々の賞に輝いています。



「久礼」ファンになったきっかけは何でしたか。

高知大学に赴任後、コロナ禍も明け、ようやく飲み会ができるようになった際、居酒屋の店員さんに「辛口でさっぱりと美味しい日本酒は?」と聞いたところ、「久礼」を勧められ大ファンに。これまで飲んできたさまざまな日本酒の中で最も自分に合うと感じ、飲み会の席には自分の前に必ず(笑)あります。



家族や周囲から、どんな性格と言われることが多いですか。

けっこう不精なところを言われますが、うーん、そうかなあ。でも仕事となると一心不乱に取り組んでいます。

人生訓などはありますか。

「諦めたら、そこで試合終了」です。野球に打ち込んでいた時もそうですが、絶対にしてはいけないのが「諦めてしまうこと」。病気も同じです! 全国の患者さんにも、これを伝えたいし、この気持ちで救い上げたいのです。

今後の木村先生の生き方について。

健康に動ける体力を維持しながら放射線治療の地位向上につとめ、一人でも多くのがん患者さんを明るく元気にしていきたいと願っています。

これからの10年間で目標に、高知県のがん治療を必ず変えていく。

新しいエビデンスの構築から、がん治療の未来を変える!

今後、まだまだ大きな目標があるそうですね。

ええ、個人的にも具体的な目標を掲げているんです。特に教授に就任してからは、高知県全体の放射線治療をはじめとする

勤務している医療者なら誰もが体感できているところではないでしょうか。ですから、経験年数によらず自由に意見が言える医局づくりが可能で、願わくは本院の幅広い放射線治療の領域から自分の強みが生かせる分野を見つけ、全国に、世界に通用する医師を育てられたらと思っています。

がん治療の10年後を考えるようになり、現状を広い視点から見られるようになりました。先ずもつての達成目標としているのは肺がん、肝臓がんにおけるエビデンスの構築と定位照射の新技術開発です。高齢化が進む一方の高知県では「切らずに治す」放射線治療をさらに普及させ、早期にそれに備えた寡分割照射スケジュールや低侵襲治療法の確立に向けて

たアクションを起こしていきたいと考えています。私の生涯を通じて、放射線への研究と治療は最大のモチベーションとなっていくのではないのでしょうか。では最後に、放射線治療をけん引していく若い医師の皆さんへ、メッセージをお願いします。

放射線治療は臓器横断的に全身のがんを診れる領域です。守備範囲が広く、まだまだ証明すべきエビデンスや技術開発も数多く残されており、興味は尽きません。また専門医の数もまだまだ少ないこともあり、若い先生方や医学生への積極的なチャレンジを待っています。一緒に「切らずに治す」放射線治療を目指しましょう。

この日は愛飲している清酒「久礼」の蔵元、中土佐町久礼にある(有)西岡酒造店におじゃましての撮影。



まず「転移性脊髄圧迫に対する緊急照射」という言葉が耳慣れないのですが、こういったことを指すのでしょうか。

木村 転移性脊髄圧迫は、脊椎・脊髄に転移した腫瘍が脊髄を圧迫して痛みや神経障害を引き起こすことを指します。症状が出てから数時間で進行する場合があります。両足の麻痺などが残る可能性もあるんです。これは早期に放射線治療を実施することで、症状を回避したり緩和することが可能なんです。

今回始まった「輪番制」は木村先生のご提案からだそうですね。

木村 はい。前職の広島大学病院でも輪番制の仕組みはなく、発生

事例に対して院内で対処していたのですが、別病院のある先生が院内のいたるところにポスターを貼って「患者さんに脊髄圧迫の兆候があったら、土日に関わらず私に連絡を」と呼び掛けていた姿が心に残っています。

全国的に見ると、緩和治療を行っている先生の中にはこのような取り組みをされている方もいるとは思いますが、今回のように病院間の垣根を飛び越えて連携した試みは、恐らく日本では初めてではないでしょうか。

中谷 高知赤十字病院で救急医療に携わっていると1〜2年に1人の割合ですが、対象の患者さんに巡り合います。がん治療に携わる先生方の多くが、一度は経験したことがあるのではないかと思います。例えば、患者さんに症状が出て、



これまでのような空白時間がなくなり、一人でも多くの患者さんを拾い上げ、早期に治療ができるやり方は理想的ですし、我々も大変期待しています。

高知医療センターでも、放射線診断の先生方からは「脊椎骨に転移があり、脊髄を圧迫しているような症例を見たら相談してください」と言ってくれるまでになりましたね。そのせいか、相談数は確実に増えています。ただ、週末だけどもう少し早くならないか、という事例もあります。わずかな時間差で麻痺により排便、歩行等が不自由になるといった患者さんのADLに影響が出てきますから、麻痺しているかどうかというタイミングが最も効果的なのです。今回の三院連携の制度づくりは、高知県の医療にとっても大きな飛躍となりましたね。

連携の成果はこれから顕著に現れてきそうですね。

ところで、制度を作るにあたりご苦労はありませんでしたか。

木村 輪番制となれば土、日拘束も出てきますので、本音を言えば西岡先生と中谷先生がすんなりと受け入れて下さるかということ

緩和照射に、日本初の試み。高知から「がん放射線治療」に輪番制が誕生！

高知がん診療連携協議会において、がん患者さんに対する症状緩和のための緩和照射に大きな進展があった。放射線治療に特化した「緩和照射輪番制」の導入がそれだ。制度立ち上げまでの経緯と、これからの展望などを制度発足の中心となった3名の医師に聞いた。

遅れに対する無駄が払拭され、金曜日に見つけても慌てることのない万全な体制がついに整った！

院内を飛び越えた病院間連携の取り組みに大きな意味がある。

輪番制のスタートで、一人でも多くの患者さんを拾い上げられる。



や、当院の花崎病院長に承諾いただけるかが心配ではありました。しかし、反対は一切なく、モチベーションも一気に高まりました。それからは、どの施設がどの週を担当するかといった具体的な体制を詰めていく作業が続きました。救急の体制も各病院で異なるため、難しい調整でした。

また、県内の医療機関の先生方も含め、とにかく多くの人に知っていただきたいと考えています。この先、できれば市民公開講座のものを開催して、患者さん方々にも広く知ってもらいたいし、有効な制度ですのでマスコミにも取り上げて欲しいので、半年ぐらいかけて各病院長さんに直接お会いしてお話ししていこうと思っています。

中谷 MRIを置いている施設などにも知っていただけたら、さらに相乗効果があると思っています。我々にとって画期的な輪番制度が走り出しましたが、やがてこのシステムが、当たり前になることで治療機会が増え、金曜日に対象の患者さんを見つけても、慌てることなくしっかりと送ってくれるような体制が確立されてくることでしょうかし、他院の専門医の方々にももっと関心

を示していただくのが理想です。成功体験を身を持って感じた時、この制度の必要性が伝わると思います。

西岡 まずは、このシステムをよりブラッシュアップさせていくことですね。緩和医療学会や放射線治療関連学会とかでの発表も有効だと思います。患者さんの生の声で成功事例を発信してゆけばさらに広がることでしょうし、制度のこれからが、本当に楽しみです。



高知医療センター副病院長／がんセンター長／放射線療法科長
西岡 明人
(にしおか あきひと)



高知赤十字病院第二放射線科 部長
中谷 貴美子
(なかたに きみこ)